

第6回（合同講座）

1. 日 時:令和5年6月28日(水)

13:30～15:30

2. 場 所:へきしんギャラクシー
プラザ大会議室

3. テーマ:「絵解き～地獄絵～」

4. 講 師:畔柳 優世先生
(西尾市養寿寺住職)

5. 出席者:15 / 19名(1年生)、
2年28 / 29名(2年生)

6. 内 容

○講師の先代住職が残した地獄
絵図2枚を基にした「地獄」の
講話であった。

○罪を犯した者が、死後地獄に落
ちる。死者は、皆「三途の川」
を渡らなければならない。やが
て閻魔大王の裁きを受ける。

○閻魔王庁には人の罪を見抜く「浄玻璃の鏡」と呼ばれる大鏡も用意されている。
その鏡は、生前の全ての行いが映し出される。

○地獄の中で亡者は何度死んでも蘇る。罪によって諸地獄に落とされる。諸地獄の
うち、①恫喝地獄、②黒縄地獄、③刀葉林地獄の説明があった。どの地獄も、殺
されても何度でも生き返るが、また繰り返し殺される、ということであった。

7 感 想

地獄の話が2時間続くと会場の雰囲気が重くなるということで、時々、ユーモア
を交えて講話して下さった。普段何気ない日々が続いている中、「地獄」という
視点から、あらためて今を考え直すことができました。「今日一日、仏様に守って
もらったことに感謝」、「良いことをして世のため人のために尽くす」という住職の
言葉が心に残りました。

